

松波小学校だより

第8号
令和7年11月28日
能登町立松波小学校

「努力の秋、成長の秋」

秋も深まり、校庭の木々も赤や黄に色づいています。朝夕の冷え込みが増し、冬の足音が近づいてきました。そんな中でも、子どもたちは元気いっぱいに学校生活を送っています。

今月は、授業参観、校内マラソン大会、そして4年生の能登町町器械運動交歓会など、多くの行事がありました。

授業参観では、これまでの学びの成果をおうちの方に見ていただこうと、どの学級でも真剣に取り組む姿が見られました。子どもたちの「わかった!」「伝えたい!」という思いが教室に広がり、保護者の皆様の温かいまなざしに支えられていることを改めて感じました。



校内マラソン大会では、冷たい風の中を一生懸命に走る子どもたちの姿がありました。苦しくなってもあきらめず、ゴールを目指して走り続けるその姿は、とてもたくましく、見ている私たちに感動を与えてくれました。走り終えた後の「やりきった!」という笑顔には、それぞれの努力の物語がありました。

また、4年生は能登町器械運動交歓会に参加し、練習の成果を存分に発揮してくれました。仲間と励まし合いながら挑戦する姿、演技を終えた後の誇らしげな表情には、達成感と自信が満ちていました。仲間とともに目標に向かって努力してきた経験が、これからの成長につながっていくことでしょう。

行事の多いこの時期、子どもたちは学習や運動を通して、自分の力をためし、友達と励まし合いながら成長しています。こうした日々の積み重ねが、子どもたちの「生きる力」を育てていくのだと感じます。

季節は冬へと移り変わろうとしています。寒さが厳しくなる中でも、子どもたちは温かい心をもって、互いを思いやりながら過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様には、これまでと変わらぬご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。日々の生活の中で子どもたちの頑張りを励まし、支えてくださることが、学校での成長につながっています。いよいよ2学期もまとめの時期を迎えます。ご家庭と学校が力を合わせ、子どもたち一人ひとりの「できた」「がんばった」という小さな喜びを大切に育みながら、次のステップへとつなげてまいりたいと思います。今後とも、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

能登町立松波小学校
校長 宮本 秀人